

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（11月）

留学先：フィンドレー大学（The University of Findlay）

氏名：小田悠菜

こんにちは。留学をスタートさせて約3ヶ月が経ちました。11月は期末試験の準備をしたり、来学期の履修を決めたりと今学期の終わりが近づいてくるのを感じます。また、月の中旬には雪が降り1日でキャンパスが真っ白になりました！気温もマイナスの日がありオハイオの気候の変化に驚かされる月でした。そして、アメリカ人にとってのビックイベント、Thanksgiving があります！！今月は私が月の始めに参加したキャリアフォーラム、Thanksgiving Break について書きたいと思います。

<ボストンキャリアフォーラム>

11/1-11/3 にボストンキャリアフォーラムが行われました。私はこの日程のうち11/1と11/2の2日間に参加してきました。このボストンキャリアフォーラム、通称「ボスキヤリ」は毎年11月にボストンで開催されるビック就職イベントです。日英バイリンガルの学生を主な対象としており、留学経験がある人や現在留学中の多くの学生がこの期間にボストンに集まります。イベントの規模はとても大きく、アメリカにいながらリクルートスーツを着た多くの学生を見るのはとても変な感じがしました。このフォーラムでは企業説明→書類選考→一次面接→二次面接→内定（企業によって選考方法は異なります。）というような流れで参加者の中には1日で内定をもらう人もいます。

当日は企業のブースを回り多くの企業説明を聞くことができました。（合同企業説明会のような感じです。）そして気になる企業に事前に用意したレジュメを提出し一次面接の連絡を待つというような流れでした。フォーラムに参加した期間が短く、準備不足ということもあり残念ながら内定をもらうことはできませんでした。しかし、これから就職活動を進めていくにあたって何が必要かを考える良い機会となりました。また、普段キャンパス内では会うことのできない就活生や企業の方と会うことができ今後の留学生活、就職活動へのモチベーションをあげることができました。

余談ですが、アメリカの学生にも就職活動というものがあります。日本のようにはっきりとした採用システムはありませんが3、4年生は日本人学生のようにインターンシップやジョブフェアに行きます。キャンパス内でも学内合説のようなものや実際に企業に人を招いての面接練習、セミナー、マナー講習など3、4年生またはBusiness Majorの学生に向けてのイベントが行われていました。私もどのようなものか気になりいくつかのイベントに参加してみました。日本とアメリカでは履歴書の書き方や面接のマナーが違い興味深かったです。反対に共通点も多くの発見できました。また、アメリカ人の学生の方が自分を表現することが上手だと感じました。さすがですね。

<Thanksgiving Break!!!>

11/27-12/1はThanksgiving Breakという11/28のThanksgivingを祝うためのお休みがありました。この祝日はクリスマスに並ぶアメリカのビックイベントで日本のお正月のように親戚が集まりみんなで祝いします。この日にはターキーを食べるのが伝統だそうでThanksgivingを代表するモチーフは可愛いニワトリのイラストです(笑)家族でごちそうを食べ、フットボールの試合を見ながらゆっくり過ごすというのがスタンダードだそうです。この祝日はほとんどのお店が閉まり、学生も帰省するのでキャンパスには誰もおらずとても静かでした。

Thanksgiving 当日は友達の家族の集まりにお邪魔することができました！それぞれの家族が手料理を持ち寄り、互いにハグをして再会を喜び、一緒に食事をするということでも心温まる空間でした。いただいた料理も普段は食べることのできないアメリカの手料理でとてもおいしかったです！招待してくれた友達には感謝しなければなりません。残りの日はというと課題(多くのペーパーの締め切りがThanksgiving Breakの後なので…)をしたり、映画をみたり、友達と料理をしたり、ボランティア活動に参加したりとゆっくりと過ごしました。



1日で雪が積もったキャンパス



バスを乗り間違えてボストンを観光できました(笑)



学食のThanksgiving Dinner



友人宅でいただいたごちそうたち

(大学が留学生のために料理を用意してくれました！)

